

# ～ 平野商店街の個店の魅力の情報発信を通じた地域貢献(平野商店街振興組合) ～

## 活動の様子



取材先の1つのパン屋 & 洋菓子さん



アーケードの色は緑色に統一されている



取材先の1つの花屋さん

## 企画・活動概要

平野商店街と連携して、お店の顔である店主、店員の皆様にスポットを当てて、中小小売店のマーケティングの4Pの視点から、店主、店員の魅力を、ゼミ生が取材、情報発信する。学生はこの活動を通じて、社会との関わりを持つ貴重な経験をするとともに、地域における商店街の役割、中小小売店の役割を認識する絶好の機会になると考えています。



平野商店街は有馬街道の入口に位置する

## 経緯・背景・目的

商店街のお店の最大の魅力は「人」。お店の顔である店主、店員の皆様にスポットを当てて、情報発信をすることによって商店街やお店の魅力向上に寄与できるのではないかと。そんな思いからこの企画がスタートした。元々、平野商店街では、別の社会共創活動であるカフェ空間での飲食店出店のプロジェクトが動いていた。商店街の抱える課題について、商店街の理事長と意見交換をする機会があり、課題の一つとして「情報発信」というキーワードが出てきたことから、今回のプロジェクトになったもの。



散策してみるとたくさんの魅力が発掘できる

## 取り組む課題

商店街の抱える課題について、商店街の理事長と意見交換をする機会があり、課題の一つとして「情報発信」というキーワードが出てきたことから、今回のプロジェクトになったもの。なお、学生は活動を通じて、社会との関わりを持つ貴重な経験をするとともに、地域における商店街の役割、中小小売店の役割を認識する絶好の機会になると考えている。



季節限定メニューの雪だるま。かわいい！！

## 本学(学生)の役割

学生は、中小小売店のマーケティングの4Pの視点から、店主、店員の魅力を、ゼミ生が取材、情報発信するものである。2024年度、商店街のリーダーとの情報交換、取材するお店が決定したことから、引き続き2025年度はゼミ生が中心となって店主、店員の魅力を、ゼミ生が取材、情報発信する。



別の社会共創活動で平野商店街にはゼミ生がお世話になっている

## 活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

2024年度は、商店街のリーダーとの情報交換、取材するお店が決定した。まだ現場とのかかわりは弱いので、今後様々な能力が身に付くと考えている。現状では、商店街やお店の現状を把握する「状況把握力」が身に付いた。2025年度には、相手の意見を丁寧に聴く力である「傾聴力」、自分の意見をわかりやすく伝える力である「発信力」、目的を設定し確実に行動する力である「実行力」、課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力である「計画力」などが身に付くのではないかと考えている。



取材先の1つのはりきゅう豆腐屋さん

## 指導教員および関係者の紹介

<指導教員>

商学部  
マーケティング学科  
教授  
長坂泰之(ナガサキ ヤスユキ)

<専門・担当科目等>  
流通政策、商業まちづくり、  
中小企業論

<関係者・企業等>

平野商店街振興組合  
理事長  
小林和朗(コバヤシ カズアキ)

長坂ゼミは地域(まち)、企業(みせ)の経営を実践的に学んでいます。私たちは自らでは気づかない魅力がたくさんあります。同様に「まち」や「みせ」にも顕在化していない魅力がたくさんあります。これらの魅力をどう高めたいかはよく、実際に現地に飛び出して、方向性を考え、実行する実践的なゼミです。2年生後期から始まるゼミではカフェ経営に挑戦します。利益を出せるビジネスプランを計画し、目標達成に向けて活動します。このカフェ経営を通して経営の楽しさや難しさを体感します。3年次に隣り合う現場でのゼミ活用から得られることは無限大です。長坂ゼミは実践を通して理論を学ぶ唯一無二のゼミです。

有馬街道の入口付近、祇園神社も近くのバス道沿いのT字路に、緑のアーケードが目印の平野商店街があります。昔は神戸市電の始発点であり乗降客で溢れていました。商店街の歩みは、昭和23年に前身の「平野商店会」がスタートです。昭和38年「平野商店街振興組合」を結成。平野商店街のスローガンは「やさしいまち平野」。商店街の至る所にこの標語が目に入る。戦前からの地元客が多く、お客様の高齢化が著しいこともあり個々のお店が「やさしい」サービスに力を入れています。